

高月地域づくり協議会 第2次5ヶ年計画 2年次

平成30年度定期総会

高月地域づくり協議会は、高月地域内の自治会・公共的な団体や個人が連携して地域課題の改善活動のほか地域のコミュニティをすすめてきました。



高月地域づくり協議会(会長山岡孝明)は、去る四月二十八日、高月まちづくりセンターにおいて平成三十年度定期総会を開催し、平成二十九年度事業報告及び会計決算報告、平成三十年度事業計画及び会計予算が賛成多数で承認されました。

今年度は、第二次五ヶ年計画の二年次として、これまでの事業を継続しながら、さらなる事業の展開を図っていきます。

高月地域においては、人口の減少や高齢化は年々進行し、自治会や団体などの住民組織の活動にその影響が現れはじめています。

地域づくりの活動は、地域が抱える問題や課題に対して行政に頼るだけでなく、自ら解決できること、自ら取り組むこと、です。住民自治の行動で地域で支え合

平成30年度高月地協一般会計予算

予算総額 3,244,000円

〔支出内訳〕

- ・部会活動費 555,000円
- ・広報研修費 230,000円
- ・事務局費 2,419,000円
- ・予備費 40,000円

いながら地域が困っていることを困らなく、地域のみんなのために、地域づくりの活動を進めることが大切で、各部会は、相互に連携・協働しながら事業を実践します。

たかつき

地域力

第35号

《発行》

高月地域づくり協議会
広報研修委員会

《事務局》

高月まちづくりセンター
高月町渡岸寺141-1
TEL (0749) 85-5204
FAX (0749) 85-5744

高月地域のようす
(平成30年6月1日現在)

人口
男 4,764人
女 4,978人
合計 9,742人
世帯数
3,303世帯

●今年度実施予定の主な事業

(自治会部会)

- ・地域課題改善要望活動
- ・新たなコミュニティ活動
- ・自治会活力メイクアップ事業

(健康福祉部会)

- ・健康と安心な暮らしの研修会
- ・健康とふれあいウォーキング
- ・しょうがい者支援
- ・平和祈念式の開催
- ・高齢者サロンの充実

(安全環境部会)

- ・通学路安全点検活動
- ・地域防災研修会
- ・地域エコフオスター作戦
- ・広域自治会防災訓練

(教育文化スポーツ部会)

- ・中学生学習支援事業
- ・文化講演会
- ・夏の夕べのつどい

(地域振興部会)

- ・秋のあつたかつき祭りⅦ
- ・食と農と暮らしを考える講演会

(広報研修委員会)

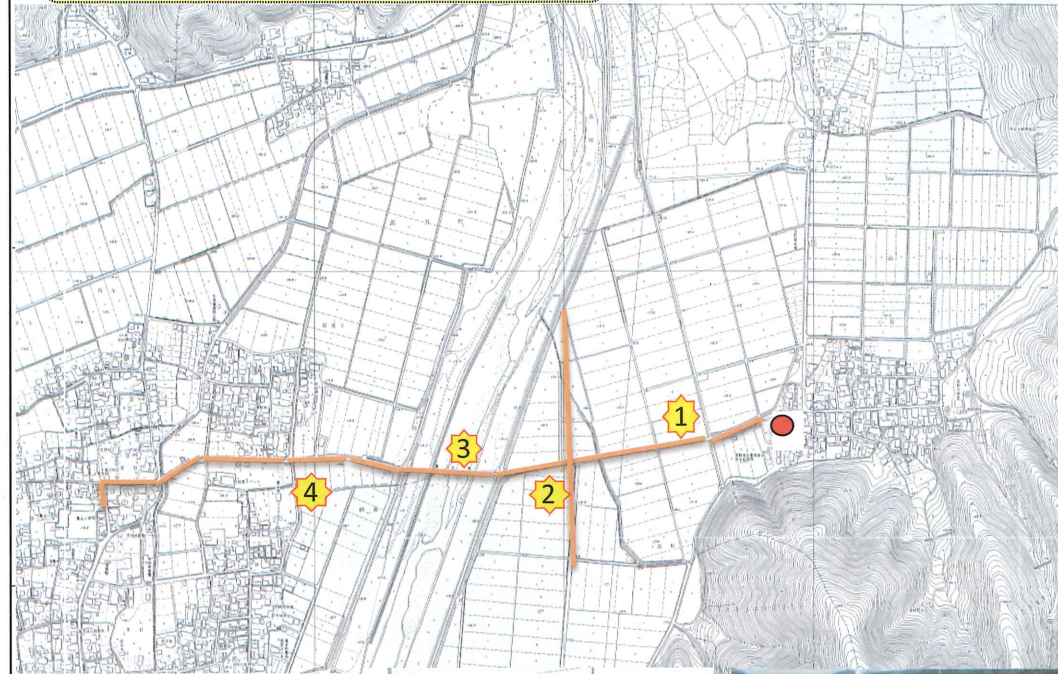
- ・たかつき地域力の発行



事務局体制

事務局長	高山平一郎	熊野
事務職員	宮澤智子	柏原
	山岡祐理子	東阿閉
	村井広子	高月
地域活力プランナー	宮田重己	宇根
事務員	岩崎尚子	熊野

② 高野自治会児童通学路



番号	危険指摘場所	危険・不具合な状況
①	・市道井口高野線高野地先	・歩道と田面との高低差が大きく、転落の危険。
②	・市道井口高野線と県道木之本高月線の交差点	・朝・夕の交通量が多く、待機場も狭く、大変危険。
③	・市道井口高野線富永橋	・冬期、消雪設備が通学側にあり、作動中は水を避けないと通行できない。
④	・市道井口高野線保延寺地先	・転落防止柵等がなく、転落の危険。



木之本警察署・富永小関係者・高月小関係者・交通安全協会高月支部及び女性部・地域づくり協議会の他北部振興局建設課の出席を得て開催しました。最初に、交通安全協会高月支部長の報告後、木之本警察署・北部振興局建設課より、改善策や対策についての助言や説明をいただいた後、意見交換を行い、より一層の安全対策をお願いすると共に関係各機関への要望等強く取り組んでいくこととしました。

広域防災訓練
古保利連合自治会で実施へ
(仮)「こほりんBOUSAIフェア」
9月30日(日)午前中 古保利小学校
みんなで守ろう 地域の安全 家族の命

また、講評では、木之本署管内での交通事故等の状況報告や、防犯上の観点からは、声掛け事案等の話があり、地域が連携し、対応していくことが必要であるとの助言をいただき、閉会しました。

地域には、身近な所に見通している危険箇所があると思います。「あれ？」と思うたら、声に出して教えてください。地域で解決できることもあるかもしれません。

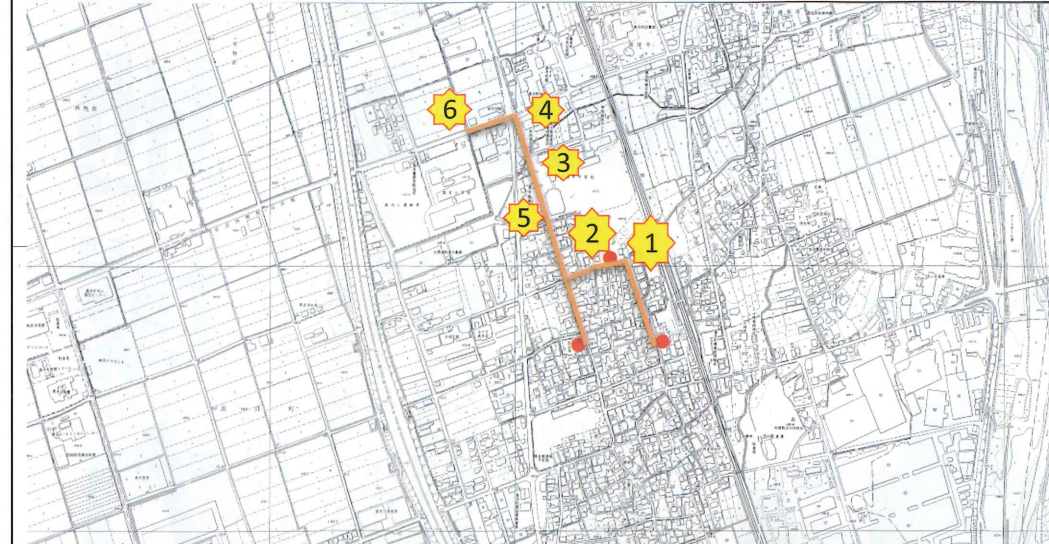
高野自治会 児童通学路 4箇所の危険を 指摘

高野草の根広場前に十数名の児童と共に約一・五キロの通学路点検を実施しました。ここでの最大の問題は、市道井口高野線と県道木之本高月線の交差点で通勤時間とも重なり、

大半の車がスピードを落とさずに通過して行きます。また、交差点での待機場も極めて狭く、大変危険な状況であり、早急な対策が求められています。



① 高月自治会(北)児童通学路



番号	危険指摘場所	危険・不具合な状況
①	・市道高月北町線・市道高月中町T字交差点	・止まれの表示が消えている。
②	・市道北町線沿線	・水溜まり箇所が点在している。
③	・市道北部線交差の河川	・転落防止柵等がなく、転落の危険。
④	・市道北部線サンレイパー付近	・敷地境界ブロックとの段差があり、危険。
⑤	・市道北部線沿線	・路肩ラインの幅が異なるため、登下校時の対応が必要。
⑥	・県道西柳野高月線小学校前信号付近	・県道に歩道はあるが、待機場が狭く、中学生の通学時間と重なり、危険。



近年、登下校中の小学生が無謀な運転によって犠牲者となる交通事故や連れ去りといった重大事件が発生しています。そして事故や事件の度に通学路の安全が問われ、社会問題としてクローズアップされてきました。

私たちの地域では、このような事故や事件が起らないよう、誰もが安全運転等に心がけなければなりません。合わせて、地

域が子ども達の通学路の安全状況について点検することが必要と考え、今年度も五月に日頃児童の安全確保に取り組み団体等が協力し、通学路安全点検を実施しました。

この活動は、子ども達と共に登校し、子ども達の目線で通学路における交通・防犯の両面から危険箇所を発見し、危険回避に向けた対策の検討・協議を行い、安全な場所となるよう改善・改良策を導き、子ども達が安全に、安心して登下校できるようにするためのものです。

安全点検活動報告会には、点検活動に参加いただいた

高月自治会(北) 児童通学路 6箇所の危険を 指摘

高月北の児童は、三箇所の集合場所から高月小学校へ通学しています。この日は、あいにく雨天でしたが、子ども達は元気に歩きはじめました。今回の点検では、通学路が、高月駅

への連絡道路であることから車両(自転車含む)の通行量も多く、自治会内で歩道がない通学路です。また、雨天でわかつたこともあり、六箇所の危険が指摘されました。

**小学校通学路
安全点検活動報告会**
六月二十七日 実施

高月地域住民
初夏の健康

ウォーキング大会

長浜市老人クラブ
連合会高月支部・高
月地区社会福祉協議
会・高月地域づくり
協議会の主催の健康
維持をめざした初夏
の健康ウォーキング
大会を梅雨晴の6月
9日、5歳から80歳
までの48名の参加
者で、実施しました。

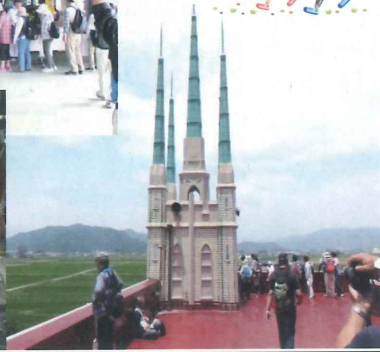
ながら、足を
進めました。

西阿閉水質
公園は、完成
当時の面影は
ありませんが、
ありまさんが、
ハンノキの群
生地です。知
れています。

東阿閉公民館
の屋上より、高月地
域を一望し、日頃見
ることのできない体
験をすることができ
ました。

また、宇根冷水寺
では、胎内仏資料館
の館長さんの見事な
話術に参加者一同聞
きほれて、その歴史
の重みや深さを実感
しました。

また、宇根冷水寺
では、胎内仏資料館
の館長さんの見事な
話術に参加者一同聞
きほれて、その歴史
の重みや深さを実感
しました。



することができま
した。今秋にも、ウォ
キング大会を予定し
ています。初夏とは、
また違ったウォーキ
ングを楽しんでいた
だけだと思いますの
で、是非とも、ご参
加ください。



つつじ作業所の

アルミ缶・新聞・雑誌収集に
地域のご協力を！！

高月町柏原のつつじ作業所
は、しょうがいのある人た
ちが地域で安心して暮らしてい
けるように支援する施設です。
つつじ作業所では、現在、パ
ンや味噌の製造販売の他に地
域からアルミ缶や新聞・雑誌
を収集して取扱業者に販売す
る業務も行っています。

この収集には、高月地域の
自治会が各家庭のご理解を得
て、資源ごみ収集時に、つつじ
作業所へ提供する方法で行わ
れ、ボランティアの皆さんが
自治会の集積場から

専用収集BOX
(新聞・雑誌はこの中へ)

つつじ作業所への運
搬を担っています。
運び込まれた資源は、
再資源として取扱業
者に引き取られ、そ
の販売額は、アルミ

年度別 収集量

	アルミ缶	新聞	雑誌
H28年度	5,545	17,440	9,470
H29年度	5,245	39,550	27,290

〔つつじ作業所調べ〕 単位:kg

編集後記

今回初めて地
域を歩いてみて、
普段気づかない
新鮮な景色だっ
たり、また、地域の特
色を実感しました。
これからこの町
「たかつき」を地域で
後世に残していきた
いものです。皆さん
も一度歩いてみま
せんか？新しい発見
ができるかもしれま
せん。

缶・新聞・雑誌を合
わせて年間一二〇万
円程度になり、入所
者への支援に役立
てられています。
しかし、近年、特に
アルミ缶の収集量が
減少しており、収入
源の確保が課題にな
っています。地域の
皆さんのより一層の
ご協力が、地域で支
え合える社会づく
りに貢献し、意義あ
ることになります。
アルミ缶・新聞・
雑誌は、自治会の資
源ごみ収集日につ
じ作業所へのご提供
をお願いします。